

農学府修士課程修了について

標準修業年限以上在学し、教育課程に従い、下記表に示す課程修了に必要な単位数を修得するとともに、研究指導を受け、学位論文を提出してその審査に合格し、かつ、最終試験に合格しなければならない。

また、課程修了の要件として、自身が所属するプログラムを必ず修了すること。

【課程修了に必要な単位数(30単位以上)】

区分ごとの最低修得単位数は以下のとおり

◎印は必修科目 ○印は選択必修科目

【共通基礎科目・共通演習科目】から あわせて18単位以上					
【共通基礎科目】から 4単位以上			【共通演習科目】から 2単位以上	【専門科目】から 4単位以上	
自コースの 概論	他コースの 概論	「21世紀農学特論」	「国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ」 (又はⅡ)	自コースの 専門科目	他コースの 専門科目
1単位以上	1単位以上	◎ 1単位 ※ ¹	○ 1単位 ※ ²	2単位以上	2単位以上

【4月入学生の場合】

【論文関連科目】 あわせて12単位			
【特別研究】※ ³		【特別演習】※ ⁶	
「農学特別研究Ⅰ」 (又はⅢ)	「農学特別研究Ⅱ」(又はⅣ), 「農学展開研究Ⅰ」(又はⅢ), 「農学展開研究Ⅱ」(又はⅣ)	「農学特別演習Ⅰ」(又はⅡ)	論文レビュー特別演習Ⅰ(又はⅡ)
◎ 4単位 ※ ⁴	○ 2単位 ※ ⁵	◎ 4単位 ※ ⁷	◎ 2単位 ※ ⁷

修了要件に関する留意点

- ※1. 「21世紀農学特論」は**必修科目のため**、必ず修得すること。
- ※2. 「国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ」(又はⅡ)は**選択必修科目**であり、必ずどちらかを修得すること。
- ※3. 【特別研究】科目は、4月入学者は教育課程表の「A群」から、10月入学者は「B群」から履修すること。
- ※4. 「農学特別研究Ⅰ」(又はⅢ)は**必修科目のため**、必ず修得すること。
- ※5. 「農学特別研究Ⅱ」(又はⅣ), 「農学展開研究Ⅰ、Ⅱ」(又はⅢ、Ⅳ)は**選択必修科目**であり、3科目のうち2科目を修得すること。
- ※6. 【特別演習】科目は、4月入学者は「Ⅰ」、10月入学者は「Ⅱ」を履修すること。
- ※7. 「農学特別演習Ⅰ」(又はⅡ), 「論文レビュー特別演習Ⅰ」(又はⅡ)は**必修科目**として、必ず修得すること。
- ※ 課程修了の要件として、自身が所属するプログラムを必ず修了すること。プログラムごとの修了要件は次ページのとおりとする。

プログラムごとの修了要件について

課程修了の要件として、自身が所属するプログラムを必ず修了すること。
プログラムごとの修了要件は以下のとおり

科目区分	授業科目の名称	プログラム修了要件									
		AP	CP	LP	RP	EP	NP	TP	SP	IP	
共通基礎科目	生物生産科学概論Ⅰ	◇	◇								
	生物生産科学概論Ⅱ	◇	◇								
	応用生命化学概論Ⅰ			◇							
	応用生命化学概論Ⅱ			◇							
	自然環境資源学概論Ⅰ				◎						
	自然環境資源学概論Ⅱ					◎					
	食農情報工学概論Ⅰ								◇		
	食農情報工学概論Ⅱ								◇		
	地球社会学概論Ⅰ									◇	
	地球社会学概論Ⅱ									◇	
	国際イノベーション農学概論Ⅰ										◇
	国際イノベーション農学概論Ⅱ										◇
生物生産科学コース(A・C)	生産環境科学Ⅰ	○									
	生産環境科学Ⅱ	○									
	植物生産科学Ⅰ	○									
	植物生産科学Ⅱ	○									
	動物生産科学Ⅰ	○									
	動物生産科学Ⅱ	○									
	生物制御科学Ⅰ		○								
	生物制御科学Ⅱ		○								
	生物制御科学Ⅲ		○								
	生物制御科学Ⅳ		○								
	生物生産科学特論Ⅰ	○									
	生物生産科学特論Ⅱ	○									
生物生産科学特論Ⅲ	○										
生物生産科学特論Ⅳ		○									
応用生命化学コース(L・C)	生体分子化学Ⅰ			○							
	生体分子化学Ⅱ			○							
	生理生化学Ⅰ			○							
	生理生化学Ⅱ			○							
	健康長寿科学Ⅰ			○							
	健康長寿科学Ⅱ			○							
	応用生命化学特論Ⅰ			●							
	応用生命化学特論Ⅱ			●							
	応用生命化学特論Ⅲ			●							
	応用生命化学特論Ⅳ			●							
	応用生命化学特論Ⅴ			●							
	応用生命化学特論Ⅵ			●							
自然環境資源コース(E・C)	環境資源材料学Ⅰ				○						
	環境資源材料学Ⅱ				○						
	資源機能制御学Ⅰ				○						
	資源機能制御学Ⅱ				○						
	環境生物学Ⅰ					○					
	環境生物学Ⅱ					○					
	環境化学Ⅰ					○					
	環境化学Ⅱ					○					
	生態系保全学Ⅰ						○				
	生態系保全学Ⅱ						○				
	生態系保全学Ⅲ						○				
	森林環境保全学Ⅰ						○				
	森林環境保全学Ⅱ						○				
	森林環境保全学Ⅲ						○				
	自然環境資源学特論Ⅰ				○						
	自然環境資源学特論Ⅱ				○						
	自然環境資源学特論Ⅲ				○						
	自然環境資源学特論Ⅳ				○						
自然環境資源学特論Ⅴ					●						
自然環境資源学特論Ⅵ					●						
自然環境資源学特論Ⅶ					●						
自然環境資源学特論Ⅷ					●						
自然環境資源学特論Ⅸ						○					
自然環境資源学特論Ⅹ						○					
食農情報工学コース(T・C)	地域環境工学Ⅰ							○			
	地域環境工学Ⅱ							○			
	地域環境工学Ⅲ							○			
	生物生産工学Ⅰ							○			
	生物生産工学Ⅱ							○			
	生物生産工学Ⅲ							○			
食農情報工学特論Ⅰ								○			
地球社会学コース(S・C)	共生人間学Ⅰ								○		
	共生人間学Ⅱ								○		
	環境社会関係学Ⅰ								○		
	環境社会関係学Ⅱ								○		
	食料環境経済学Ⅰ								○		
	食料環境経済学Ⅱ								○		
食料環境経済学Ⅲ								○			
地球社会学特論Ⅰ									○		
国際イノベーション農学コース(I・C)	国際環境修復保全学Ⅰ										○
	国際環境修復保全学Ⅱ										○
	国際生物生産資源学Ⅰ										○
	国際生物生産資源学Ⅱ										○
	国際応用生命化学Ⅰ										○
	国際応用生命化学Ⅱ										○
	国際地域開発学Ⅰ										○
	国際地域開発学Ⅱ										○
	国際応用動物学Ⅰ										○
	国際応用動物学Ⅱ										○
国際イノベーション農学特論Ⅰ										○	

- AP …共通基礎科目◇印から1単位以上、専門科目○印から2単位以上
 CP …共通基礎科目◇印から1単位以上、専門科目○印から6単位以上
 LP …共通基礎科目◇印から1単位以上、専門科目○印から4単位以上、●から2単位以上
 RP …共通基礎科目◎必修1単位、専門科目○印から6単位以上
 EP …共通基礎科目◎必修1単位、専門科目○印から4単位以上、●から2単位以上
 NP …共通基礎科目◎必修1単位、専門科目○印から6単位以上
 TP …共通基礎科目◇印から1単位以上、専門科目○印から6単位以上
 SP …共通基礎科目◇印から1単位以上、専門科目○印から2単位以上
 IP …共通基礎科目◇印から1単位以上、専門科目○印から4単位以上

履修について

履修案内の8～10ページを参照した上で、次の点に注意すること。

1. 「WEB履修不可」科目の履修登録

履修案内20～22ページの教育課程表に「WEB履修不可」と記載されている科目は、通常の科目と異なりSPICAから履修登録することができない。履修を希望する場合は以下を参照の上、それぞれの科目ごとに定められた方法で履修登録すること。

【農と工の科学概論】

食料エネルギーシステム科学専攻(BASE)で開講される所定の対象科目のうち、一つを選択、合格することで単位が認定される科目。対象科目の一覧はシラバスを参照のこと。

履修登録時期:

受講を希望する科目が開講される学期の履修登録期間。

履修登録方法:

教務係窓口で配布する「科目振替申告届」に必要事項を記入し、授業担当教員の押印を受けた上、履修登録期間内に教務係窓口へ提出のこと。

【農学課題別演習】

農学特別研究や農学展開研究の成果を纏めて学会において発表するとともに、自身の研究に関連する発表を聞いて質疑応答に参加することで単位を認定する科目。

詳細はシラバスを参照し、認定の対象となる学会については指導教員に確認のこと。

履修登録時期:

認定対象となる学会への参加前に手続きを行う。履修登録期間外にも申請することが出来る。

履修登録方法:

「履修登録届(インターン・学外実習用)」に必要事項を記入し、指導教員の署名・押印を受けた上、そのほかの必要書類と併せて所定の期日までに教務係窓口へ提出のこと。提出書類の様式はWEB掲示板から入手のこと。

【国内外特別演習】

修士論文研究のための留学や共同研究、国内外の企業や研究機関等のインターンシップや各コース・プログラムで企画された宿泊研修旅行などの企画に参加し、活動する。事前の学習、実施報告書の作成と発表などを行うことで単位を認定する科目。

詳細はシラバス参照し、認定の対象となる活動については指導教員に確認のこと。

履修登録時期:

認定対象となる活動の開始前に手続きを行う。履修登録期間外にも申請することが出来る。

履修登録方法:

「履修登録届(インターン・学外実習用)」に必要事項を記入し、指導教員の署名・押印を受けた上、そのほかの必要書類と併せて所定の期日までに教務係窓口へ提出する。提出書類の様式はWEB掲示板から入手のこと。

【国際研究プレゼンテーションⅠ】

【国際研究プレゼンテーションⅡ】

農学特別研究や農学展開研究の成果を修士論文に纏めるための中間発表を行うことで単位を認定する科目。オリエンテーションを10月初旬に開催する。オリエンテーションへの参加は単位認定を行うための必須条件である。オリエンテーションの日時・場所等の詳細は、9月初旬までにWEB掲示板に掲載する。

単位認定は、在学期間中に「国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ」(日本語)又は「国際研究プレゼンテーション演習Ⅱ」(英語)のいずれか1単位のみ。

履修登録方法:

履修登録は発表演題のコース・プログラム長への届け出をもって代える。

2. 論文関連科目の履修について

修士論文作成のための科目であり、「特別研究」及び「特別演習」の2つの科目区分からなる。履修登録自体は通常の科目と同様、各自SPICAから行うが、**履修の時期、科目選択、指導教員(副)の選定については、指導教員に相談の上で決定**する必要がある。

「特別研究」について、4月入学者はA群、10月入学者はB群から選択して履修する。

「特別演習」について、4月入学者はⅠ、10月入学者はⅡを履修する。

【農学特別研究Ⅰ】(4月入学者)

【農学特別研究Ⅲ】(10月入学者)

1年次通年科目として指導教員(主)が担当する**必修科目**。

自身の所属するプログラムごとに登録に使用する時間割番号が異なるため、注意して登録すること。

【農学特別研究Ⅱ】指導教員(主)(4月入学者)

【農学展開研究Ⅰ】指導教員(副)(")

【農学展開研究Ⅱ】指導教員(副)(")

【農学特別研究Ⅳ】指導教員(主)(10月入学者)

【農学展開研究Ⅲ】指導教員(副)(")

【農学展開研究Ⅳ】指導教員(副)(")

3科目のうち2科目を修得する必要がある**選択必修科目**。

修士論文作成に対する指導教員(副)の関与が大きい場合は「農学展開研究Ⅰ(又はⅢ)」(指導教員(副))と「農学展開研究Ⅱ(又はⅣ)」(指導教員(副))の2科目の組み合わせを選択のこと。それ以外の場合は、「農学特別研究Ⅱ(又はⅣ)」(指導教員(主))と「農学展開研究Ⅰ(又はⅢ)」(指導教員(副))の2科目の組み合わせを選択のこと。

なお、「農学展開研究Ⅰ(又はⅢ)」と「農学展開研究Ⅱ(又はⅣ)」の組み合わせで履修する場合において、指導教員(副)が同一教員である必要はない。ただし、ダブルプログラム修了(次ページ参照)のためには、他プログラム所属の同一教員である必要がある。

履修について、原則「農学特別研究Ⅱ(又はⅣ)」は2年次、「農学展開研究Ⅰ(又はⅢ)」と「農学展開研究Ⅱ(又はⅣ)」は1年次を標準とするが、指導教員が教育上有益と認める場合は履修年次の変更も可能である。指導教員と相談の上、最終的に決定すること。

「農学特別研究Ⅱ(又はⅣ)」は自身の所属するプログラムごとに時間割番号が異なるため、注意して登録すること。

「農学展開研究Ⅰ(又はⅢ)」 「農学展開研究Ⅱ(又はⅣ)」は指導教員(副)ごとに時間割番号が異なるため、注意して登録すること。

【農学特別演習Ⅰ】(4月入学者)

【農学特別演習Ⅱ】(10月入学者)

【論文レビュー特別演習Ⅰ】(4月入学者)

【論文レビュー特別演習Ⅱ】(10月入学者)

指導教員(主)が担当する**必修科目**。1年次の履修を標準とするが、指導教員が教育上有益と認める場合は履修年次の変更も可能である。指導教員と相談の上、最終的に決定すること。

自身の所属するプログラムごとに時間割番号が異なるため、注意して登録すること。

ダブルプログラム修了について

課程修了の要件である自身が所属するプログラムの修了に加えて、更に他プログラムの修了も希望する者の取扱いは、以下のとおりとする。

他プログラムの修了要件

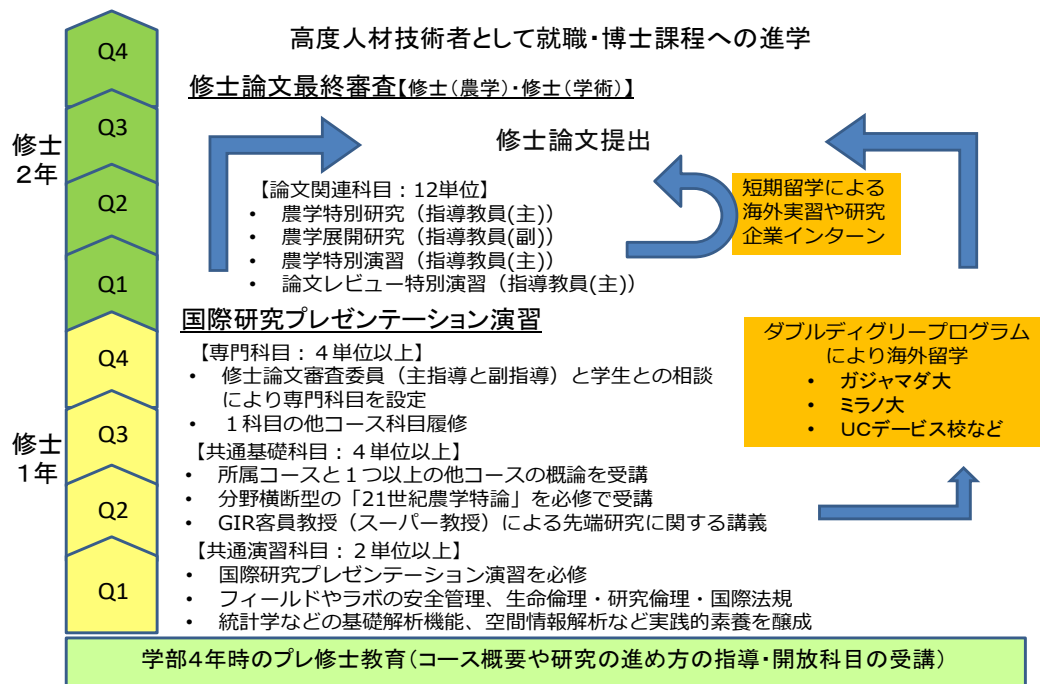
1. 別紙様式により1年次又は2年次前期の履修登録期間内に、指導教員を経て、農学府長に申請すること。(提出先: 教務係)
2. 他プログラムが定めた単位を修得すること。
3. 論文関連科目の特別研究のうち、選択必修科目として、他プログラムの同一指導教員が担当する「農学展開研究Ⅰ」及び「農学展開研究Ⅱ」を修得すること。

他プログラムの修得要件を満たした学生について

学位記には、修得したプログラム名すべてが記載される。

教育課程の特色

農学専攻のカリキュラムの特色



【共通基礎科目】

高度専門職業人および博士課程への基礎的素養として、農学と工学や人文・社会科学などの関連分野の基礎を幅広く理解し、次世代農学を駆使した持続可能社会を構築するための基本的な知識を学ぶ。

各コースの概論とともに、農工大の特色である分野横断型科目として「21世紀農学特論」を必修とする。

農学と工学を融合させ、新たな分野を切り開くことを目的として設立された生物システム応用科学府（以下、BASEという）教員による「農と工の科学概論」、グローバル教育院教員による双方向のコミュニケーション能力を身に着けるための「異文化コミュニケーション学」、世界の先進的な研究を多面的に学ぶためのGIR教員による「Advanced lecture of Green, Food, and Life science」、東京外国語大学教員による「Arts of Intercultural Communication」などの科目が選択科目として開講される。

- ※1. 「21世紀農学特論」は、必修科目として、1学期水曜2限に開講され、奇数年度は日本語で開講し、偶数年度は英語で開講
- ※2. 「農と工の科学概論」は、指定するBASE科目（詳細はシラバス参照）から1科目を選択し受講
- ※3. 「異文化コミュニケーション」は、3学期木曜3限開講
- ※4. 「Advanced lecture of Green, Food, and Life science」は、3学期集中開講
- ※5. 「Arts of Intercultural Communication」は、1学期水曜5限開講
- ※6. 「農学特論Ⅰ」は、3学期集中開講
- ※7. 「農学特論Ⅱ」は、1学期集中開講

【共通演習科目】

農学とその関連分野において、世界基準での基礎的素養であるフィールドやラボの安全管理、生命倫理・研究倫理・国際法規などを身につけるとともに、統計学などの基礎解析機能、地理情報システム(GIS)を用いた空間情報解析など、実践的素養を醸成する。

また、すべての学生・教員が参加する「国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ(またはⅡ)」を必修科目として実施する。

- ※1. 「農学実験計画法および統計解析演習Ⅰ」は、1学期に分野の異なる非常勤講師により日本語で4クラス開講
Bクラス池田先生(三浦先生):本講義は、応用生命化学に関する統計のクラスです。
Dクラス奥田先生(赤坂先生):本講義は、生態学に関連する統計のクラスです。
Cクラス川森先生(赤坂先生):本講義は、応用動物学に関する統計のクラスです。
Aクラス深野先生(佐藤先生):本講義は、生態学に関連する統計のクラスです。
「農学実験計画法および統計解析演習Ⅱ」は、3学期に英語で1クラス開講
- ※2. 「フィールド・ラボ安全管理と研究倫理Ⅰ」は、1学期に日本語で開講
「フィールド・ラボ安全管理と研究倫理Ⅱ」は、3学期に英語で開講
- ※3. 「知財の管理と運用」は、1学期に日本語で開講
- ※4. 「空間情報解析演習」は、1学期に日本語で開講、3学期に英語で開講、3学期の英語開講は2020年度から
- ※5. 「農学課題別演習」は、通年開講(随時)とし国内外を問わず学会発表による事前事後演習
- ※6. 「国内外特別演習」は、通年開講(随時)とし国内外を問わずインターンシップによる事前事後演習
- ※7. 「国際研究プレゼンテーション演習Ⅰ」は、論文中間発表を日本語で行う
「国際研究プレゼンテーション演習Ⅱ」は、論文中間発表を英語で行う

【専門科目】

農学分野の課題解決に必要である伝統的な専門知識と技術を深めるとともに、最新の研究に基づいた知見を習得する。

【論文関連科目】

指導教員に相談の上、履修計画を立てること。